

令和5年度

学力向上プラン及び体力向上プラン



(10 月版)

草加市立花栗中学校



草加っ子の基礎・基本

～笑顔かがやく草加っ子～

「知」の基礎・基本

＜しっかり聞いて じっくり考え 進んで学習＞

- 人の話をしっかり聞きます
- 自分の考えをもち、伝えます
- 興味・関心をもち、進んで学習します
- 進んで読書をします
- 家庭学習をします



「徳」の基礎・基本

＜礼を正し 場を清め 時を守る＞

- 自分や友達を大切にします
- ありがとう、ごめんなさいを素直に言います
- あいさつや返事、ていねいな言葉づかいをします
- 身の回りの整理整頓をします
- 登下校や授業の始まりなどの時刻を守ります



「体」の基礎・基本

＜元気に運動 しっかり食事 ぐっすり睡眠＞

- 力いっぱい運動をします
- 「早寝早起き朝ごはん」をします
- 交通ルールやマナーを守ります
- テレビやゲーム、スマホなどの使い方に気を付けます
- ものごとに粘り強く取り組みます



生きる力の育成

知識及び技能 思考力、判断力、表現力等 学びに向かう力、人間性等

草加っ子の学びを支える授業の5か条

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

学習の流れを明らかに

第1条 学習課題(めあて)を明らかにする

第2条 児童生徒が自分で考える時間を設ける

第3条 児童生徒が表現と交流をする場を設ける

第4条 学んだことを活用する場を設ける

第5条 学習のまとめと振り返りの時間を設ける

学習の見通しをもたせる

授業規律の確立

学校・家庭・地域で共に教えて育てる子どもの力

元気に運動
しっかり食事
ぐっすり睡眠

生活
習慣

学習
習慣

しっかり聞いて
じっくり考え
進んで学習

礼を正し
場を清め
時を守る

草加っ子の基礎・基本

一人ひとりのよさや可能性 豊かな人間関係

令和5年度 学力・学習調査 結果

- 【1】全国学力・学習状況調査結果
- 【2】埼玉県学力・学習状況調査結果
- 【3】学力の伸びと学力レベルの変化
- 【4】生徒質問紙回答結果（規律ある態度）

令和5年度 花栗中学校学力・学習調査（全国・埼玉県） 結果

【1】全国学力・学習状況調査（3学年実施）《値は平均正答率・単位は％》

		本校	全国	埼玉県	県平均との差
国語	令和4年度	71	69.0	70	△1.0
	令和5年度	74	69.8	71	△3.0
数学	令和4年度	51	51.4	52	▼1.0
	令和5年度	55	51.0	52	△3.0
理科	令和4年度	52	49.3	49	△3.0
英語	令和5年度	46	45.6	46	－

【2】埼玉県学力・学習状況調査（異なる年度の過去の同学年との比較）《値は平均正答率・単位は％》

			本校	草加市	埼玉県	県平均との差
1年	国語	令和3年度	64.6	62.8	61.3	△3.3
		令和4年度	58.6	59.8	58.8	▼0.2
		令和5年度	64.9	65.0	63.8	△1.1
	数学	令和3年度	60.9	59.7	59.4	△1.5
		令和4年度	55.9	57.3	57.7	▼1.8
		令和5年度	55.8	56.9	56.4	▼0.6
2年	国語	令和3年度	63.4	63.4	63.1	△0.3
		令和4年度	59.0	58.4	57.1	△1.9
		令和5年度	61.7	61.5	60.2	△1.5
	数学	令和3年度	56.7	57.6	59.1	▼2.4
		令和4年度	50.3	52.7	52.7	▼2.4
		令和5年度	57.2	59.2	59.0	▼1.8
	英語	令和3年度	63.0	63.6	62.6	△0.4
		令和4年度	60.4	59.8	59.0	△1.4
		令和5年度	51.6	54.4	53.3	▼1.7
3年	国語	令和3年度	69.2	67.4	68.1	△1.1
		令和4年度	55.6	56.8	56.3	▼0.7
		令和5年度	59.6	57.5	55.5	△4.1
	数学	令和3年度	54.1	57.5	58.1	▼4.0
		令和4年度	56.5	56.1	57.1	▼0.6
		令和5年度	65.9	62.3	60.8	△5.1
	英語	令和3年度	58.5	61.1	60.0	▼1.5
		令和4年度	57.4	56.4	55.9	△1.5
		令和5年度	54.5	51.5	50.4	△4.1

埼玉県学力・学習状況調査 学力分析データ（伸ばした生徒割合）

※各数値は、R4、R5調査をともに実施した生徒を集計対象としています。

※学力を伸ばした生徒は、「学力のレベル」を数値化したとき、昨年度より数値が1以上増加している生徒となります。

※学力の伸び率(学力のレベルの差の平均)については、対象となる生徒の「学力のレベル」を数値化して計算しています。

※昨年度調査を実施していない場合、「-」が表示されます。

1 学年		学力を伸ばした 児童生徒の割合（%）	学力が伸びなかった 児童生徒の割合（%）	学力の伸び率 (R5とR4の差の平均)
国語	埼玉県	60.5	39.5	1.3
	草加市	60.6	39.4	1.3
	花栗中	58.5	41.5	1.1
算数 数学	埼玉県	58.9	41.1	1.1
	草加市	62.4	37.6	1.4
	花栗中	52.5	47.5	0.9

2 学年		学力を伸ばした 児童生徒の割合（%）	学力が伸びなかった 児童生徒の割合（%）	学力の伸び率 (R5とR4の差の平均)
国語	埼玉県	58.8	41.2	1.2
	草加市	59.3	40.7	1.2
	花栗中	62.9	37.1	1.8
数学	埼玉県	62.6	37.4	1.5
	草加市	64.1	35.9	1.6
	花栗中	70.2	29.8	1.7

3 学年		学力を伸ばした 児童生徒の割合（%）	学力が伸びなかった 児童生徒の割合（%）	学力の伸び率 (R5とR4の差の平均)
国語	埼玉県	55.6	44.4	0.9
	草加市	61.9	38.1	1.4
	花栗中	62.4	37.6	1.3
数学	埼玉県	65.2	34.8	1.6
	草加市	69.5	30.5	1.9
	花栗中	86.1	13.9	3.3
英語	埼玉県	68.7	31.3	1.8
	草加市	71.3	28.7	1.9
	花栗中	72.3	27.7	2.2

埼玉県学力・学習状況調査「規律ある態度」達成目標

				令和5年度			令和4年度		
	項目			中1	中2	中3	中1	中2	中3
○けじめのある生活ができる	1 時刻を守る	①登校時刻	県	97.7	96.5	95.8	97.7	96.1	96.3
			市	97.8	96.9	95.8	98.3	96.0	96.8
			花	99.2	96.0	95.2	98.5	96.3	94.7
		時刻 ②授業開始	県	96.7	97.3	97.4	96.9	97.1	97.6
			市	97.6	97.6	98.2	97.3	96.8	98.1
			花	99.2	97.6	99.0	97.7	95.3	99.1
	2 身の回りの整理整頓をする	③靴そろえ	県	88.1	90.8	92.1	89.1	89.8	92.3
			市	86.8	88.7	91.8	88.5	88.6	89.7
			花	94.3	89.6	87.6	93.1	88.8	93.8
		④整理整頓	県	76.5	77.5	80.4	77.1	77.0	80.8
			市	73.3	75.3	79.0	72.8	74.1	76.6
			花	85.2	69.6	84.8	69.2	77.6	81.4
○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする	⑤あいさつ	県	82.6	83.1	84.5	81.9	81.7	83.5
			市	81.4	84.5	87.1	81.4	82.5	83.1
			花	87.7	86.4	89.5	88.5	86.9	88.5
		⑥返事	県	89.4	90.1	90.1	88.0	86.6	88.3
			市	89.2	91.0	91.2	88.4	88.4	89.2
			花	96.7	86.4	90.5	86.9	87.9	91.2
	4 ていねいな言葉づかいを身につける	⑦ていねいな言葉づかい	県	90.9	92.7	92.5	91.2	90.5	92.2
			市	91.7	92.3	93.0	91.6	91.5	92.3
			花	94.3	92.8	92.4	92.3	85.0	90.3
		⑧やさしい言葉づかい	県	88.7	89.9	90.2	89.3	88.1	88.7
			市	86.8	89.4	90.3	87.6	87.9	88.2
			花	89.3	86.4	88.6	87.7	88.8	90.3
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る	⑨学習準備	県	91.4	92.5	93.1	91.9	91.2	92.5
			市	91.2	93.1	93.9	91.4	91.2	93.0
			花	96.7	92.0	91.4	89.2	87.9	95.6
		⑩話を聞き発表をする	県	79.0	77.7	78.7	77.2	73.4	76.7
			市	77.9	76.1	79.7	74.4	72.7	76.7
			花	75.4	70.4	79.0	68.5	73.8	74.3
	6 生活のきまりを守る	⑪集団の場での態度	県	93.1	94.4	95.2	92.6	92.5	94.6
			市	92.4	94.9	95.3	92.0	93.0	95.4
			花	96.7	92.0	96.2	90.0	90.7	95.6
		⑫掃除・美化活動	県	87.4	86.8	87.2	85.8	84.3	85.8
			市	83.7	84.4	84.3	82.9	82.9	83.8
			花	91.0	88.0	89.5	89.2	82.2	87.6

令和5年度
学力向上プラン
全体計画
各教科

令和5年度 草加市立花栗中学校 学力向上プラン 全体計画（10月）

- ・教育関係法規
- ・学習指導要領
- ・教育振興基本計画
- ・埼玉県小中学校教育課程編成要領
- ・埼玉県教育行政重点施策
- ・埼玉県指導の重点・努力点
- ・草加っ子の基礎・基本

- ## 1. 学校教育目標
- 自ら考え、心豊かに、たくましく生きる
- 学力を伸ばす生徒 **【知】**
 - 豊かな心を育てる生徒 **【徳】**
 - 心身共に健康な生徒 **【体】**

- ・地域の実態
- ・生徒の実態
- ・保護者の願い
- ・教師の願い
- ・めざす学校像
- ・めざす生徒像
- ・めざす子ども像
- ・学力向上にかかわる学校課題

2. 学力向上にかかわる学校経営方針等

- ・学校経営方針 言語活動を充実し、生徒一人ひとりが主体的に取り組む授業、諸活動
- ・重点目標 生徒一人ひとりが主体的に取り組む授業づくりの推進
 - ①わかる授業の推進と基礎学力の定着
 - ②言語活動の充実と課題解決能力の育成
 - ③豊かな心を育む道徳の時間の充実

本校の実態

【令和5年度埼玉県学力・学習状況調査】

◆平均正答率（県平均との差）

- 1学年：国語＋1.1 数学－0.6
- 2学年：国語＋1.5 数学－1.8 英語－1.7
- 3学年：国語＋4.0 数学＋5.1 英語＋4.1

◆学力を伸ばした生徒の割合(県平均との差)

- 1学年：国語－2.0 数学－6.4
- 2学年：国語＋4.1 数学＋7.6
- 3学年：国語＋6.8 数学＋21.0 英語＋3.6

◆規律ある態度(学年12項目中95%以上の数)

- 1年生～3年生36項目中10項目
- 埼玉県平均36項目中7項目

【令和4年度学校評価（生徒）】

- ◆「授業がよくわかる」肯定的回答R3⇒R4
82%⇒88%

3. 学力向上にかかわる課題

- ①自主的・主体的に学習に取り組む学習意欲の向上
- ②基礎・基本の定着をはかるとともに、それを活用する力の向上
- ③読み取る力の向上
- ④思考力・判断力・表現力の向上
- ⑤課題解決能力の向上
- ⑥わかる授業の創造
- ⑦授業外における学びの場の充実
- ⑧家庭学習の充実
- ⑨目標値の再設定

改善を把握する指標の設定

◆学習評価（正答率・伸び率）の設定

埼玉県学力学習状況調査において、全ての教科で県平均以上を目標とする。

◆規律ある生活アンケート(学年12項目)

1年生～3年生計36項目で達成率が95%以上の項目が18項目以上を目標とする。

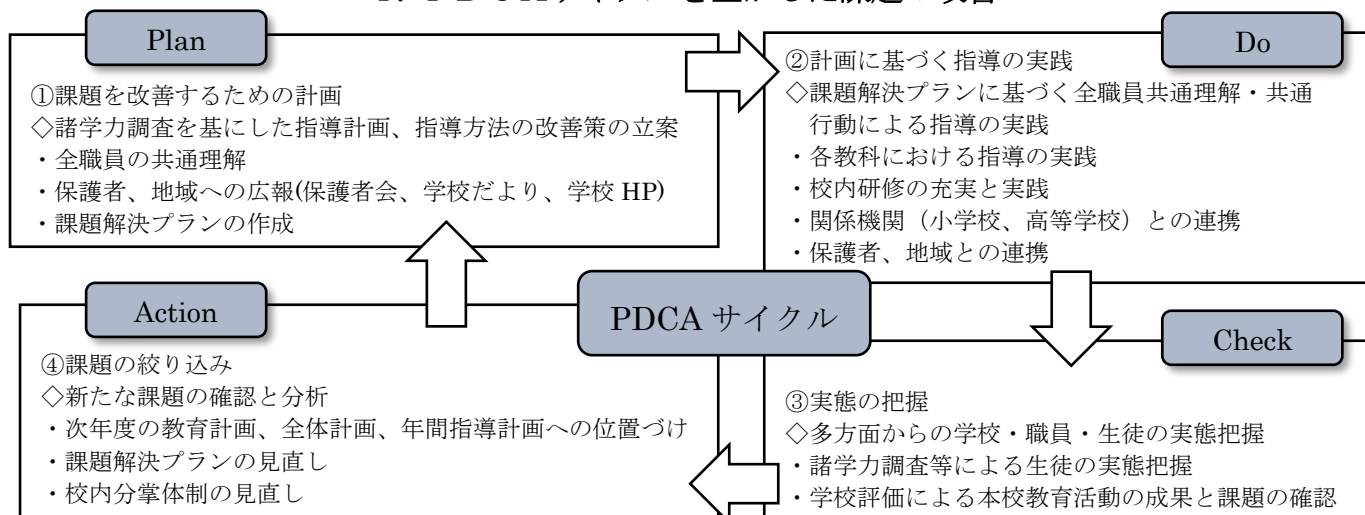
◆質問紙調査における回答率の設定

「学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい勉強しますか」に対しての回答において「全くしない」が平日3.0%以下、休日5%以下を目標とする。

◆学校評価生徒質問紙における回答率の設定

「授業がよく分かる」の肯定的回答80%以上とする。

4. PDCAサイクルを生かした課題の改善



各教科の具体的手立て

【国語】

- ・ 作文を書くプロセスの指導、それを用いたスピーチ、さらに生徒同士で評価させることにより文章構成の力をつける。
- ・ 基礎学力定着の一環として漢字テストを積み重ねる。

【社会】

- ・ 授業に関連するニュースなどを取り上げ社会的な事象に対する関心・意欲を高める。
- ・ 基礎的な内容を繰り返し学習し知識の定着を図る。
- ・ 新聞記事などを活用し、話し合い活動を通して説明する力を高める。

【数学】

- ・ 少人数授業、TT を実施し、生徒一人ひとりのつまずきや誤り等を早期に発見し、適切な指導の手だてを講じる。
- ・ 毎時間計算 5 問テストを行い基礎・基本の力をつける。
- ・ 考え方や途中計算の過程を発表し合い課題を解決していく力をつける。

【理科】

- ・ 実験用具の使い方や操作技術を正確に理解させる。
- ・ 自然現象を科学的な視点で説明できる力を身につけさせる。
- ・ 単元ごとのつながりを理解させ、発展・関連性を系統立てて学ぶ態度を身につける。

【英語】

- ・ 単語テストや会話練習を帯活動として行い、英語で書いたり話したりする自己表現に結びつける能力を高める。
- ・ 書く活動を帯活動に組み、流れやまとまりのある文章を書く能力を養う。

【音楽】

- ・ 積極的に表現活動ができる環境作りをし、発声法などの基礎的な表現の技能を高める。
- ・ 「聴く力」を伸ばすために総合芸術や様々な音楽に触れることにより音楽表現の豊かさを体感させる。
- ・ 様々な音の重なりを経験するとともに、豊かな響きのある合唱を作る力を高める。

【美術】

- ・ 様々な技法や素材に触れるとともに、芸術家の作品づくりを学び、豊かな表現力を身につける。
- ・ 自ら素材や技法を選択し、制作計画を立て、見通しをもって制作活動を行う。

【保健体育】

- ・ 基礎体力の向上を目指し、投力・瞬発力・全身持久力をつける補強運動を行う。
- ・ 課題を見つけ、解決するための練習方法を考え、実践する。振り返りの時間を設け解決しようとする力をつける。

【技術・家庭】

- ・ 布を使った作品作りや日常食の調理を通して、生活の中で実践する力を身につけさせる。
- ・ コンピューター操作やプログラミングの知識を身につけ、情報活用能力をつける。

5. 課題解決のための具体的手だて

観点	授業における指導内容・指導方法の工夫	授業外における学びの場（補充・発展学習）の工夫	学習評価活動の工夫	家庭・地域との連携の工夫
課題解決のための具体的手立て	①教科や単元の特性に応じた少人数指導、T・T指導 ②毎時間の漢字、計算、単語小テストの実施 ③書く・読む・話す・聞く力を高めるための授業の工夫 ④授業力の向上(草加っ子の学びを支える授業の5か条を意識した授業展開) ⑤授業規律の確立・徹底「生きる力4カ条」の「授業に真剣に臨む力」の育成 ⑥校内研修の充実 ・ 1 学期...公開授業の実施 ・ 2 学期...研究授業会実施 ・ 3 学期...総括 ⑦15年間を通した教育課程の編成	①基礎基本の徹底 ・ 漢字、計算、英単語 50 問テストの実施 ②家庭学習（宿題）の出し方の工夫と家庭学習習慣の形成 ・ 家庭学習ノートの活用 ③定期テスト前における補習授業の実施 ④生活習慣の改善を図る家庭教育の啓発 ・ e ライブラリーの導入 ・ オンラインでの学習 ⑤Google Classroom、Meet を利用したオンライン授業環境の整備	①年間指導計画に基づいた評価規準の見直しと共通理解 ②花栗中シラバス（授業の受け方と評価方法）の作成および生徒・保護者へ配布 ③授業における自己評価、相互評価活動の積極的な導入 ④全国・県学力学習状況調査の結果を職員で共通理解し、授業改善に生かす	①「生きる力4カ条」に関わる家庭での取り組みの啓発 ・ 学習準備の重点化 ・ 家庭学習習慣の形成 ②家庭学習（宿題）の出し方の工夫と家庭学習習慣の形成 ・ 家庭学習ノートの活用 ③生活習慣の改善を図る家庭教育の啓発 ・ 学校、学年、学級通信 ・ e ライブラリーの導入 ④地域の学習ボランティアの活用 ⑤幼保小中一貫教育の推進 ⑥小学校と大学との連携 ・ 中学校教諭が小学校で授業 ・ 幼保小中合同研修会 ・ 生徒会の交流(あいさつ運動) ・ 獨協大学との共同授業

【花栗中学校国語科学力向上プラン】

【1】学力向上目標

① 国語科の目標

国語に親しむと共に、基礎基本の徹底と書く力の向上を図る。

② 国語科で身に付けさせたい力

《花栗中学校生徒の強み》

- ・課題に丁寧に取り組むことができる。
- ・話を静かに聞くことができる。
- ・「話すこと・聞くこと・書くこと」において成果が表れている。(R4 県学力学習状況調査)

《花栗中学校生徒の課題》

- ・作文を書くプロセスが定着していない。
- ・自分の意見を大きな声ではっきりと伝えることが苦手な生徒が多い。



《生徒に身に付けさせる学力》

- ・基礎学力の定着(漢字)
- ・書く力の向上(作文を書くプロセスを知る)

③ ICT 機器の活用の工夫

- ・プロジェクター等による、視覚にうったえる指導、GIGA 端末を活用した活動

④ 言語活動の工夫

- ・大きな声で、はっきりと伝える
- ・話すこと・聞くことの「型」を提示し、指導していく

【2】各学年の授業における取組

1年	[重点目標] ・型を身につけ、基礎を身につける。 ・読解力を向上させる。 [具体的な取組] ・話すこと、聞くこと、書くことの「型」を提示し、それを使ってスピーチをしたり、聞いたり、作文を書いたりする授業を行う。 ・週に1回読解ワークを使用し、読解力向上を目指す。
2年	[重点目標] ・基礎学力の定着を図る。 ・作品を読み込み、様々な形で表現できるようにする。 [具体的な取組] ・漢字テストの反復を行う。 ・作文を実際に書かせ推敲し、書く力の向上につなげる。 ・創作した詩や作文の発表を行う。
3年	[重点目標] ・基礎基本を定着し、書く力の向上を目指す。 [具体的な取組] ・毎授業で漢字テストを行い、基礎学力をつける。 ・1, 2年生で習得した型を用いて、自分の考えを豊かな言葉で表現する。

【花栗中学校社会科学力向上プラン】

【1】学力向上目標

① 社会科の目標

- ・基礎的・基本的な知識を確実に習得しながら、既得の知識と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、学習内容の深い理解を図る。
- ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

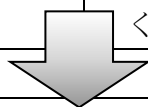
② 社会科で身に付けさせたい力

《花栗中学校生徒の強み》

- ・成績を向上させようとする意識が高い生徒が多い。
- ・タブレットなどのICTを活用し、調べ学習を得意とし資料活用能力に長けている。

《花栗中学校生徒の課題》

- ・繰り返し学習して基礎的・基本的な知識の定着を図ろうとする意識が低い。
→ 家庭での学習習慣が身につけていない生徒が一定数存在する。
- ・ニュースや新聞などの活字に触れる機会が少なく、語彙力が不足している生徒が多い。



《生徒に身に付けさせる学力》

- ・基礎的・基本的な知識を確実に習得させる。
- ・根拠に基づいて物事を説明したり、議論したりする力を高める。
- ・社会的事象について、主体的に学習に取り組む態度を高める。

③ ICT 機器の活用の工夫

- ・デジタル教科書を活用する
- ・GIGA 端末を活用し、課題の提示、共有を行う。

④ 言語活動の工夫

- ・資料から必要な情報を集めて読みとらせる。
- ・事象間の関連や、自分の意見・考えを説明させる。

【2】各学年の授業における取組

1 年	[重点目標] 基礎的・基本的な知識を確実に習得させる。 [具体的な取組] ・授業内容に関連するようなニュースを取り上げる。 ・基礎的な内容を繰り返し学習させ、できることを実感させる。
2 年	[重点目標] 社会的事象について、主体的に学習に取り組む態度を育てる。 [具体的な取組] ・実物教材やデジタル資料の活用を図る。 ・社会班をつくり、ジグソー学習など主体的・対話的な学びを勧め、根拠を持って説明する力をつけさせる。
3 年	[重点目標] 根拠に基づいて物事を説明したり、議論したりする力を高める。 [具体的な取組] ・新聞等の情報の読み取りを実施し、これからの日本や世界について考える機会を設定する。 ・主体的・対話的で深い学びを実現し、生徒一人ひとりに公民的な資質・能力の基礎を身に付けさせる。

【花栗中学校数学科学力向上プラン】

【1】学力向上目標

① 数学科の目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基本的な概念や原理・原則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数学的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

② 数学科で身に付けさせたい力

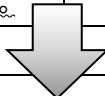
《花栗中学校生徒の強み》

令和5年度埼玉県学力・学習状況調査において、

- ・1年生全体で、数と計算の問題で目標値を超えていた。
- ・2年生全体で、データの活用の問題で目標値を超えていた。
- ・3学年全体で、すべての問題で目標値を超えていた。

《花栗中学校生徒の課題》

- ・家庭学習の習慣が定着していない生徒がいる。
- ・深い学びまで到達していない生徒が多い。
- ・基本的な計算技能を習得できていない生徒もいる。
- ・主体的に取り組む態度(主体性)が低い生徒がいる。



《生徒に身に付けさせる学力》

- ・計算を中心とした基礎・基本の力を身に付けさせる。
- ・既習事項や多角的な考えをいかして、課題を解決していく力を身に付けさせる。

③ ICT 機器の活用の工夫

- ・タブレット等を有効に活用することで、様々な考え方や思考ルートの情報を全体で共有する。
- ・GIGA 端末の活用やデジタル教科書を利用して基本的な知識や技能を習得させる。

④ 言語活動の工夫

- ・答えを予想させたり、考え方を筋道を立てて説明する場面を取り入れたり、仲間同士で教えあったり、学びあったりする場面を取り入れる。

【2】各学年の授業における取組

1年	[重点目標] ○基礎・基本の定着(特に「数量関係」)をはかり、自力で解決できる力を育てる。 ○定着した基礎・基本の力を活用して課題を解決することができる力を育てる。 [具体的な取組] ○基礎的な内容の定着を図るため、生徒同士教えあう活動を行わせる。 ○考え方や途中計算の過程を大切にしたい指導を行い、それらを発表する場を増やす。 ○OT2を活用し、きめ細かな指導を行い、基礎・基本の定着を図る。
2年	[重点目標] ○基礎・基本の定着(特に「関数」と「図形」)をはかり、自力で解決できる力を育てる。 ○定着した基礎・基本の力を活用して課題を解決することができる力を育てる。 [具体的な取組] ○少人数指導を行いきめ細かな指導と、定期的なワーク提出を行い基礎・基本の定着を図る。 ○発想や考え方、途中計算などの過程を重視し、それらを書いたり、発表する場を増やす。
3年	[重点目標] ○基礎・基本の定着(特に「関数」と「図形」)を図り自力で解決できる力を育てる。 ○定着した基礎・基本の力を活用して課題を解決することができる力を育てる。 [具体的な取組] ○生徒間の教えあいの中で、説明する力の向上や、基礎・基本の定着を図る。 ○言葉や数式、表、グラフ等の数学的な表現を用いて論理的に考察する機会を増やす。

【花栗中学校理科学力向上プラン】

【1】学力向上目標

① 理科の目標

「観察・実験を通して生徒の興味・関心を高め、基礎基本の確実な定着を図る」

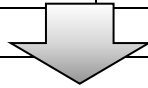
② 理科で身に付けさせたい力

《花栗中学校生徒の強み》

- ・チャイム着席を守る。
- ・好奇心旺盛
- ・理科室での約束事など理解し守ろうとする。

《花栗中学校生徒の課題》

- ・課題を持って授業に臨まない
- ・集中力が続かない
- ・自然体験が乏しく、日常と関連した考えに及ばない。



《生徒に身に付けさせる学力》

- ・基本的な用語や計算・実験器具の使い方を理解できる学力
- ・自然現象を科学的な視点で説明できる学力
- ・単元ごとのつながりを理解できる学力。

③ ICT 機器の活用の工夫

デジタル教科書の効果的な活用

NHKのインターネット動画の効果的な活用

実験・観察と動画の組み合わせの工夫

GIGA 端末を用いた学習活動の実施し、生徒の関心を高めさせ、学習を継続させる。

④ 言語活動の工夫

話し合い活動 筋道を立てて考えを説明する。

実験観察での課題から考察を関連付けて考える。→課題・実験観察・結果・考察と順序立てて考える。

自分の考えを説明し、他の意見を聞いて、考え深める。

【2】各学年の授業における取組

1年	〔重点目標〕 授業規律の確立 〔具体的な取組〕 実験室の使い方や授業中のルールの徹底。薬品の危険さを知り、その取り扱いを知る。また、ガスバーナー等の取り扱いでも、危険を知り、安全に実験を行うことを学ぶ。 自然事象に「なぜか」と疑問をもち、日常生活と関連付けて考えるとともに、その疑問を主体的に解決しようと授業に臨む。 <u>デジタル教材を参考に、粒子モデル図やグラフや作図など事象を視覚的にとらえ生徒自身でも表す。</u>
2年	〔重点目標〕 実験機器の操作技術・方法の定着 〔具体的な取組〕 化学実験でのガラス器具、電源装置や電流計、電圧計などの使う実験機器の操作技術・方法を学ぶ。 自然事象を比較し関係づけて考え、他者の意見を参考に多様な考えをもち、授業に臨む。 <u>粒子モデル・電流など視覚的なモデルとして表せる。電流や化学変化の計算をその原理を理解する。</u>
3年	〔重点目標〕 基礎学力の定着と学力の向上 〔具体的な取組〕 基本の定着から応用や発展、関連性を系統立てて学ぶ。 既習の事項と関連して考えることから、基本的な用語や計算を繰り返し学習する。既習の自然の事物・現象を多面的に考え、自分の考えを深めながら授業に臨む。 <u>デジタル教材を参考に、イオンの単元では粒子モデルでその変化を表す。</u>

【花栗中学校音楽科学力向上プラン】

【1】学力向上目標

① 音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

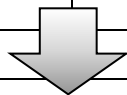
② 音楽科で身に付けさせたい力 主体的に活動し、豊かに表現する力

《花栗中学校生徒の強み》

- 先輩を目指す雰囲気や伝統となっている。
- 与えられた課題に精一杯取り組むことができる。

《花栗中学校生徒の課題》

- 一人一人のもつ力を最大限発揮し、さらに高めていこうとする力。



《生徒に身に付けさせる学力》

- 豊かに音楽表現するための基礎的な技能や方法を身につける。
- 「聴く力」、「演奏する力」を伸ばし、音楽を深く味わう力、表現する力を身につける。

③ 学習形態の工夫

個人練習、ペア練習、グループ練習、パート練習を効果的に取り入れる。また、DVD、CD等を学習内容に応じて効果的に活用する。

④ 言語活動の工夫

「音楽を表現する言葉」等の掲示物により、能力差に関わらず音楽の良さや美しさについて自分の言葉で伝えられるように配慮する。また意図的に、音楽を形づくっている要素や構造、曲想を言葉で説明したり根拠をもって批評したりする活動を設定する。

【2】各学年の授業における取組

1年	[重点目標] 自分から主体的に音楽活動に取り組み、仲間とともに表現する楽しさを体感する。 [具体的な取組] 積極的に表現活動が出来る雰囲気や環境づくりをする。 基礎的な技能を身につけるための必要な方法を学ぶ。
2年	[重点目標] 音楽表現の多様性を感じ取り、音楽の魅力やおもしろさに気づく。 [具体的な取組] 総合芸術や様々な音楽に触れる中で、音楽表現の豊かさを体感する。 様々な音の重なりを感じながら表現や鑑賞できるようにする。
3年	[重点目標] 音楽表現の豊かさを感じ取り、自ら創意工夫して音楽を高めていけるようにする。 [具体的な取組] 重唱や重奏～混声四部合唱まで、様々な音楽に取り組み、良さや美しさを体感する。 オーケストラ、日本の伝統芸能、ポピュラー音楽など、様々なジャンルの音楽に親しむ。

【花栗中学校美術科学力向上プラン】

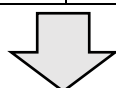
【1】学力向上目標

①美術科の目標

- ・自ら進んで美術作品の制作に取り組み、その楽しさや完成の喜びを味わい、美術の基礎的な技法・技術を身につけ表現能力を伸ばす。
- ・美術文化に関心をもち、よさや美しさを感じ取る美的感性を豊かにする。

②美術科で身につけさせたい力

《花栗中学校生徒の強み》 ・課題に丁寧に取り組む姿勢 ・集中力がある	《花栗中学校生徒の課題》 ・作品の完成度のばらつき ・表現の幅を広げる
---	--



《生徒に身につけさせる学力》 ・様々な技法や素材に触れさせ、豊かな表現を身につける力 ・制作の順序を考え、見通しをもった計画を立てさせる力
--

③ICT 器機の活用の工夫

- ・視聴覚機器を技法の説明や鑑賞活動に効果的に活用し、発想力を伸ばす。

④言語活動の工夫

- ・作品を鑑賞し合い、感じ取ったよさや美しさを言葉や文で伝え合わせる。
- ・中間報告を取り入れ、生徒間の交流の場を設けることにより、表現の幅を広げさせる。

【2】各学年の授業における取り組み

1 年	[重点目標] 創造活動の喜びを味わい、心豊かに表現し、主体的によさや美しさを感じる [具体的な取組] ・基礎と基本を身につけ、様々な素材や技法に触れ、自由に表現する楽しさを味わわせる
2 年	[重点目標] 心豊かな表現の構想を練り、創造的な構成を工夫し、見通しを持った制作活動をする [具体的な取組] ・芸術家の生涯、作品や作品づくりを学び、それらを自分の制作活動に生かす
3 年	[重点目標] 心豊かな表現の構想を練り、対象を深く見つめて創造的な工夫をし、見通しをもった制作計画をたて、美術文化について関心を持ち見方や理解を深めようとしている [具体的な取組] ・1・2学年で学んだことを基に、素材の良さを生かしながら計画的に制作活動を行う ・海外の作品やその背景について学び、知識を広げる

【花栗中学校保健体育科学力向上プラン】

【1】学力向上目標

① 保健体育科の目標

- 生涯スポーツを目指した健康の保持増進と体力向上
- 合理的な課題解決に向けての表現力の育成
- 集団行動を基に仲間と共存・協働する態度を養う

② 保健体育科で身に付けさせたい力

《花栗中学校生徒の強み》

- 授業に真面目な態度で取り組む生徒が多い。
- グループ活動時に仲間と協力して活動できる。

《花栗中学校生徒の課題》

- 学習意欲に個人差がある。基礎体力の向上。
- 課題発見・課題解決に向けての向上心を高める。



《生徒に身に付けさせる学力》

- 基礎体力の向上(特に投力、瞬発力、全身持久力)とチャレンジし続ける態度の育成。
- 仲間とともに課題を見つけ、解決方法を実践し、ふりかえりを通して課題解決能力を養う。

③ ICT 機器の活用の工夫

- 模範となる動きや練習方法を活動中スクリーンに映したり、生徒の動きや演技を撮影したりして、生徒自身で動きを客観的に見て、自他の課題を捉え解決方法を選択する。
- 保健分野では映像資料を活用し興味関心を高める。

④ 言語活動の工夫

- 教え合い、学び合いの活動を実践し、生徒間で意欲を高め合い、運動量の確保と技能の定着を図る。
- 保健では、ロールプレイなど体験的な学習活動から身につけた知識の実践力を高める。

⑤ 校区の小学校との連携

- 9年間を見通した、技能の段階的な指導計画の作成。(スモールステップ学習の推進)
- ペアワークやグループワークを活用し、自己効力感を高める。

【2】各学年の授業における取組

1年	[重点目標] ・授業規律の確立(生きる力4箇条の実践)・課題解決能力の習得 [具体的な取組] ・チャイム着席(整列)・服装の徹底・集団行動の徹底 ・種目ごとに課題を設定し、その課題を解決するための練習方法を例示されたものから選択し、実践する。(スキルチェックカードの活用)
2年	[重点目標] ・新体力テストの記録向上・課題解決能力の定着 [具体的な取組] ・準備運動の中に、新体力テスト県平均を下回る項目や県の体力課題の補強運動を取り入れる。 ・課題に対して、それを解決するための練習方法を考え、実践する。(ICT機器を活用した自己評価)
3年	[重点目標] ・新体力テストの記録向上・課題解決能力の向上 [具体的な取組] ・準備運動の中に、新体力テスト県平均を下回る項目や県の体力課題の補強運動を取り入れる。 ・自分の課題を見つけ、解決するための練習方法を考え、実践する。(ICT機器を活用した他者評価)

【花栗中学校技術・家庭科学力向上プラン】

【1】学力向上目標

① 技術・家庭科の目標

実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を身に付けさせるとともに、生活を工夫し創造できる能力と実践的な態度を育てる。

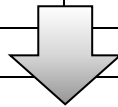
② 技術・家庭科で身に付けさせたい力

《花栗中学校生徒の強み》

- ・実習を意欲的に取り組む生徒が多い。
- ・実習・実験が好きな生徒が多い。

《花栗中学校生徒の課題》

- ・学習したことを生活の中での実践に結びつけることができない生徒が多い。



《生徒に身に付けさせる学力》

- ・身に付けた知識や技術を生活の中で実践する力
- ・情報活用能力

③ ICT 機器の活用の工夫

- ・拡大投影器を活用し、作業の仕方を全員が確認できるようにする。
- ・生徒の作品などを全体で共有する。

④ 言語活動の工夫

- ・隣の人や班員などお互いの考えを聞き、伝え合う活動をする。
- ・実習・実験の体験をまとめ、感想や記録を書き、発表し合う。

【2】各学年の授業における取組

1年	[重点目標] ・身近な材料を利用した製作により、家庭生活をより豊かにする力を身に付ける。 [具体的な取組] ・木材を利用した設計・製図・製作 ・生物の育成環境の管理(野菜づくり) ・布を使った作品づくり	○1, 2年共通 【課題解決を目指した、1回ごとの授業改善をすすめるための方策】 ・作業課題の過程においても、細かく課題を設けることでスモールステップの授業を行う。 ・細かく設けた課題に対して過程ごとの評価を行う。
2年	[重点目標] ・機械・器具の正しい使用方法を理解することにより、 [具体的な取組] ・エネルギーの変換方法と伝達の仕組みを知る。 ・調理器具の正しい使用方法を知る。 ・簡単な日常食の調理	【検証改善サイクルを確立するための手立て】 ・授業プリントに「振り返り」欄を作り、毎回の授業を振り返り、次の授業へつなげられるようにする。
3年	[重点目標] ・さまざまな情報から、必要なものを選ぶ力を身に付ける。 [具体的な取組] ・コンピュータの計測・制御の基本を知り、プログラムを ・情報の安全な活用ができるようにする。 ・3年間の学習を振り返り、「生活の課題と実践」に取り組む。	○3年 【課題解決を目指した、1回ごとの授業改善をすすめるための方策】 ・1時間で終わる作業課題にすることで、スモールステップで授業を行う。 【検証改善サイクルを確立するための手立て】 ・授業プリントに「振り返り」欄を作り、毎回の授業を振り返り、次の授業へつなげられるようにする

【花栗中学校英語科学力向上プラン】

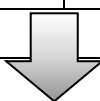
【1】学力向上目標

① 英語科の目標

- ・4技能の基礎を身につけ、グローバル社会においてたくましく活躍できる花中生の育成

② 英語科で身に付けさせたい力

《花栗中学校生徒の強み》 ・プロジェクト型学習を基に、4技能統合で学習し、発信力と、学びに向かう力を養うことができる ・目的・場面・状況を設定した中で、会話を継続することができる ・「外国語表現の能力」「外国語理解の能力」に関わる内容の理解度に成果が表れている(R4県学力調査)	《花栗中学校生徒の課題》 ・間違いを恐れ、自分の語彙力・文法力を活用して表現しようとする力に欠ける ・文章を書く力が不足している(R4県学力調査) ・「言語や文化についての知識・理解」に関わる内容の理解度に課題が見られる(R4県学力調査)
--	--



《生徒に身に付けさせる学力》 ・習得した語彙・文法を、英語で書いたり話したりする自己表現に結びつける能力 ・複数の文を用いて、流れのある文章を書く能力

② ICT 機器の活用の工夫

- ・単元の導入の場面やリスニングの補助等で活用し、視覚的効果を活かしながら理解と定着に結びつける
- ・生徒のパフォーマンスを自身・グループで確認することで、課題を発見し改善に向けて努力する
- ・上記の学習内容を、GIGA 端末を効果的に用いて実践する

③ 言語活動の工夫

- ・目的・場面・状況が明確な状態で言語活動を行い、自分の考えや思いを伝え合う
- ・十分な Listening・Speaking 活動を経て、Reading 活動を行い、Writing 活動につなげる

【2】各学年の授業における取組

1年	[重点目標] 英語に慣れ親しみながら、言語活動に取り組み、自分が社会の一員であることを自覚できるようにする [具体的な取組] ・小学校で学んだ基礎、素地をもとに、音と文字の結びつきを習得させ英語を書くことに慣れさせる。 ・生徒が社会の構成者の一員として、社会に発信ができる機会を多く取り入れ、言語活動を充実させる。
2年	[重点目標] 4技能を伸ばす活動をバランスよく行い、社会の構成員の一員として、社会に貢献していく [具体的な取組] ・単語テストや言語活動を行い、基礎的な表現力の定着を図る。 ・授業の最後に Writing 活動を行い、フィードバックをもとに、次の授業の Writing 活動につなげる。 ・協調学習やジグソー法を活用して、仲間と協力して課題に取り組む姿勢を育む。
3年	[重点目標] 英語をツールとして用いて、世の中が Happy になるよう、社会に貢献する [具体的な取組] ・基礎の定着のため、言語活動を帯活動として行う。 ・プロジェクト型学習を基に、4技能全てを用いて、社会に向けて発信していく活動を行う。 ・協調学習やジグソー法を活用して、仲間と協力して課題に取り組む姿勢を育む。

【花栗中学校保健体育科体力向上プラン】

① 保健体育科の目標

- (1) 生涯スポーツを目指した健康の保持増進と体力向上
- (2) 合理的な課題解決に向けての表現力の育成
- (3) 集団行動を基に仲間と共存・協働する態度を養う

② 保健体育科で身に付けさせたい力【花栗中学校生徒の課題】

- (1) 基礎体力向上（特に全身持久力）
- (2) 運動への興味関心と向上心
- (3) 思考力、判断力、表現力

③ 課題解決のための具体的な手立て

- (1) 効果的な補強運動の実践【幼保小中一貫教育を意識した校区の小学校との連携】
 - ・新体力テストの結果を基に、校区で共通の体力課題の克服に向けた補強運動を取り入れる。（5年度も全身持久力を高めるために毎時の3分間走の実施）
 - ・集団行動や授業スタイルを統一し、小中での円滑な接続を図る。
 - ・新体力テストを春、秋の2回実施し、体力課題の見直しと改善を図る。
 - ・体力向上便りを発行し基礎体力向上にむけて啓発を行う。
- (2) 自己効力感を高める学習
 - ・スモールステップ学習で段階的に技能を習得し、できる喜びを味わう。
 - ・学びあい、励ましあう、グループ活動の実践。
 - ・新体力テストランキングを掲示し、関心、意欲を高める。
- (3) 教材、教具、場の工夫
 - ・ICT 機器を活用し、遅れ再生や重ね再生を利用し自らの課題を見つける。
（ICT 支援員との連携）
 - ・掲示物や、学習カードを活用し、技のポイントや気づきを言語化する。
 - ・ロールプレイなど、体験的な学習活動を取り入れ、対話的で深い学びを実践する。

各学年の授業における取組

1 年	[重点目標] ・授業規律の確立（生きる力4箇条の実践） ・課題解決能力の習得 [具体的な取組] ・チャイム席（整列） ・服装の徹底・集団行動の徹底 ・種目ごとに課題を設定し、その課題を解決するための練習方法を例示されたものから選択し実践する。
2 年	[重点目標] ・新体力テストの記録向上 ・課題解決能力の定着 [具体的な取組] ・準備運動の中に、新体力テスト県平均を下回る項目や県の体力課題の補強運動を取り入れる。 ・課題に対して、それを解決するための練習方法を考え実践する。（ICT 機器を活用した自己評価）
3 年	[重点目標] ・新体力テストの記録向上 ・課題解決能力の向上 [具体的な取組] ・準備運動の中に、新体力テスト県平均を下回る項目や県の体力課題の補強運動を取り入れる。 ・自分の課題を見つけ、解決するための練習方法を考え実践する。（ICT 機器を活用した他者評価）